

宮崎県公共事業景観形成指針に基づく取組状況
(平成30年度)

宮崎県


取組状況シート(道路)

年度	路河川名 (施設名) 市町村名	写真	取組の概要	担当部署
平成30年	国道218号 高千穂町		<p>『美しい宮崎づくり』の一環として、高千穂町三田井地区の住民の皆様と一緒に、国道218号において、沿道の花壇への植栽活動を実施した。</p> <p>また、植栽活動の中で参加者に対して、国道218号高千穂バイパスの緑化ブロックに施された『高千穂らしさ』を演出する植栽を用いたデザインについてパネル展示を行い、沿道修景美化に関する啓発活動を実施した。</p>	西臼杵支庁 土木課
平成30年	JR日南駅		<p>美しい宮崎づくり推進の観点から、日南市の玄関口であるJR日南駅前の花壇にて、地元の方々や関係団体の方々とともに花植えを実施した。</p>	日南土木事務所 工務課
平成30年	国道448号 串間市	 <p style="text-align: center;">沿道修景事業で整備した花壇(恋ヶ浦海岸付近)</p>  <p style="text-align: center;">住民参加によるカンナの植栽状況</p>	<p>国道448号恋ヶ浦海岸付近(串間市大納)に沿道修景モデル事業にて花壇を整備したものの、道路改良に伴う残地(旧道敷き)にカンナを植栽していたが、旧花壇が植栽に不適(傾斜が大きく雨により表土が流れ固結し、保水力が乏しい)であったため、枕木を用いた花壇を整備した。</p> <p>整備にあたっては、地元代表者によるWGで意見をいただき箇所及び形状等を決定した。</p> <p>花壇には地元住民が参加してカンナを植栽。また、草刈り等の管理についても年2~3回住民参加により行っている。</p>	串間土木事務所 工務課
平成30年	県道 えびの高原小田線 えびの市		<p>国立公園内であることから、環境省と協議を行い、景観に配慮した色(ダークブラウン)のガードレールを設置した。</p>	小林土木事務所 道路課 道路建設担当






取組状況シート(道路)

年度	路河川名 (施設名) 市町村名	写真	取組の概要	担当部署
平成30年	国道268号		<p>造園協会とともに三松中学校の児童と沿道修景の花植を一緒に行うことで、景観や土木について知ってもらう。</p>	<p>小林土木事務所 道路課 道路保全担当</p>
平成30年	国道219号 (園元バイパス) 西都市		<p>西都原まで繋がる道として、国道219号に植栽による雰囲気創出を目的とした花壇を設置し、地元住民に協力いただきながら植栽を実施した。(秋のコスモス(9月)。春の菜の花(12月)。)</p>	<p>西都土木事務所 道路課</p>
平成30年	高鍋停車場線 高鍋町		<p>枯木化したホルトノキを伐採し、植栽帯を舗装することで、スッキリとした沿道修景と広く安全な歩道空間を確保した。</p>	<p>高鍋土木事務所 工務課 道路担当</p>
平成30年	国道327号 美郷町		<p>美郷町西郷に位置する観光施設レイクランドについて、当初、ガードレールより外側に雑木等が生えており、景観が阻害されている状況であった。そこで、眺望確保のために、伐採業務を行い、湖面及び施設等が見渡ししやすい状況にすることで景観の保全を図った。</p>	<p>日向土木事務所 道路課</p>
平成30年	国道10号 日向市		<p>金ヶ浜植栽帯について、県内有数のサーフィンスポットが隣接している箇所であるが、植栽帯内は寄植が肥大化していることから、歩道を十分に確保することが難しく、利用者がやすらぎを得がたい状況であった。そこで、寄植等の撤去を行い、植栽帯内をすっきりと見せることで、景観の確保を図った。</p>	<p>日向土木事務所 道路課</p>

取組状況シート(道路)

年度	路河川名 (施設名) 市町村名	写真	取組の概要	担当部署
平成30年	県道稲葉崎平原線 延岡市		<p>美しい宮崎づくり及び沿道修景見直しの一環として、地域との協働による維持管理を進めており、その取組みとして延岡市立恒富中学校との協働作業により、県道沿いの花壇に花植えを行った。</p>	<p>延岡土木事務所 道路課 道路保全担当</p>

取組状況シート(河川)

年度	路河川名 (施設名) 市町村名	写真	取組の概要	担当部署
平成30年	綱ノ瀬川 日之影町		床固工において、景観に配慮し現地の巨石を活用した護岸工や、魚類に配慮した魚道の整備及び地域観光に寄与した親水場の整備を行い、河床の安定化を図るとともに、町並びに地域と一体となった砂防事業を展開し、鹿川地域の活性化を図った。	西臼杵支庁 土木課
平成30年	神代川 高千穂町		河川改修前の自然な河川への再生を目指し、河床部において擬岩コンクリートを用い周辺環境との調和を図った。また、地元住民を対象とした現場見学会や小学生を対象とした環境学習を複数回開催し、事業への理解促進を図った。	西臼杵支庁 土木課
平成30年	二級河川猿ヶ瀬川 (放水路樋門操作室) 新富町		放水路樋門操作室の設置にあたり、外壁及び屋根の配色について、宮崎市景観条例(色彩:背後地が緑地等の自然地)を参考に、周辺風景との調和を図った。	高鍋土木事務所 工務課 河川砂防担当
平成30年	二級河川耳川水系田代川 美郷町		美郷町西郷を流れる田代川の災害復旧工事において、前後の石積護岸との連続性を確保するため、現地採取した玉石を活用し、懇切丁寧な仕上げによる昔ながらの雑石積護岸を完成させた。 また、河道内の仕上げにおいても、寄せ石や置き石による瀬や溜まりを創出し、水生動物の生息環境づくりに尽力した。	日向土木事務所 河川砂防課
平成30年	家田川 延岡市		<ul style="list-style-type: none"> ・家田川の自然再生事業で、管理用通路を施工。 ・家田川に流れ込む水の通り道を阻害しないよう、部分的に橋梁を整備し、湿地環境の保全に努めた。 ・橋梁は、木製とし周辺環境との調和を図った。 	延岡土木事務所 河川砂防課 河川担当

取組状況シート(公園)

年度	路河川名 (施設名) 市町村名	写真	取組の概要	担当部署
平成30年	宮交ボタニックガーデン 青島(西門) 宮崎市		<p>観光地青島地区にある「宮交ボタニックガーデン青島」の西口において、園内の統一したデザインで改修を行い、施設の魅力を磨き上げ、国内外から訪れる観光客をもてなす青島らしい景観を創造した。</p>	宮崎土木事務所 河川砂防・都市公園課
平成30年	宮崎港 宮崎市		<p>海の玄関口である宮崎港の緑豊かな景観を作り出している松を保護するため、松食い虫防除用の樹幹注入を行った。</p>	中部港湾事務所
平成30年	細島港 津波避難広場 日向市		<p>避難広場の設計において、色彩専門家、地元住民、港湾関係者により構成される景観検討会を開催し、平板ブロック舗装、転落防止柵、東屋(あずまや)などのデザイン、材料、色などの検討を行い、周辺の景観に配慮した。</p>	北部港湾事務所 工務課

取組状況シート(急傾斜)

年度	路河川名 (施設名) 市町村名	写真	取組の概要	担当部署
平成30年	迫南地区 (法面工) 串間市		<p>がけ崩れの恐れのある危険箇所において、法面工を実施するにあたり、法面崩壊を防止するとともに、緑化が期待できる法枠工(枠内植生吹付)を採用することで景観保全にも配慮した。</p>	串間土木事務所 工務課
平成30年	大平原地区 (急傾斜対策施設) 東諸県郡国富町		<p>がけ崩れの恐れのある危険箇所において、法面工を実施するにあたり、法面崩壊を防止するとともに、緑化が期待できる法枠工(枠内植生吹付)を採用することで景観保全にも配慮した。</p>	高岡土木事務所 河川砂防担当
平成30年	急傾斜地崩壊対策事業 鶴地区 西米良村		<p>西米良村の中心部である鶴地区において、軽量吹付法枠工法により急傾斜地の崩壊を防ぐ目的で事業を実施した。周辺環境との調和を考慮し、枠内を厚層基材で吹きつけ、植生の繁茂を図った。</p>	西都土木事務所 西米良駐在所

取組状況シート(治山)

年度	路河川名 (施設名)	写真	取組の概要	担当部署
平成30年	西臼杵郡高千穂町大字三田井字桑水流		集落から少し離れた場所での施工であったが人の目にも触れることから、自然との調和を図るため木製で施工した。	西臼杵支庁 林務課
平成30年	西方字鹿谷地区 串間市		下流側には人家があるため、自然との調和を図るため、木製枠工とフトンカゴによる水路工を採用し、景観に配慮した。	南那珂農林振興局 林務課
平成30年	小水尻地区 日南市		崩壊のあった住宅裏山において、コンクリート擁壁を設置するとともに、より自然に近い景観の保全に努めるため、山腹面には植生シート工や、植栽工を実施した。	南那珂農林振興局 林務課